

# 1991年6月15日フィリピン・ピナツボ火山噴火



古衣類・古靴を心待ちにしている被災子ども達です。



## お届け願う場所と日程

天王寺区役所  
午後1時～3時

10月11日・18日・25日  
11月 1日・ 8日・15日

吉祥寺「義士の寺」区民センター前  
午後1時～3時

10月12日・19日・26日  
11月 2日・ 9日・16日

ライオンズクラブ国際協会335-B地区2R2Z 大阪夕陽丘ライオンズクラブ  
大阪市天王寺区四天王寺1-14-22日進ビル3F ☎06-6772-4674

# 大阪夕陽丘ライオンズクラブからのお願い

## ピナツボ火山・被害の子供に衣服と靴を

### ●概況●

1991年6月15日、大噴火により、火山灰は高度3,400mまで噴き上げられた。同日台風が島を襲い、火砕流が山頂より16キロ流下し、台風の豪雨が降り積もった火山灰に染み込み、大規模な火山泥流を引き起こした。

火山灰からなる雲は、125,000平方kmもの面積をおおい、ルソン島中心部の大部分が闇に包まれた。

全域で火山灰が降り、水を吸って重量を増し、雪のような状態で一面をおおった。南シナ海一円で火災物が降り、降灰はベトナム、カンボジア、マレーシアにまで及んだ。

噴火による死者は、300名余を数えるが、毎年のように雨季になると火山泥流が発生し数千人の退去者を出し、避難所の不衛生な環境により、数百人が死亡した。

地域の農業は大打撃を受け、耕地は不毛と化し、数千人にも及ぶ農民の生活基盤が破壊された。村は火山泥に埋もれ、生活基盤をも失いつつも生きている。幼児が、子供が真剣に生きている。満足な衣服も無く、素足で駆け回り生活の糧を求めている。

### ●我々は何をすべきか●

火山泥に埋もれた地には危険がいっぱい。ちょっとした傷でも一命を落とす事もあります。子供たちには自由に走って欲しい、擦り傷には衣服の着用と靴があれば十分役立つと、現地の活動家とお話をしました。

### ●皆様をお願い●

皆様のご家庭で眠っていませんか。幼児から高校生位までの靴と衣服、使い古して良いんです、眠っていませんか。頂ければ子供たちに最良のクリスマスプレゼントとして、皆様の心と共にピナツボ火山被害の子供たちにお届けします。

### ●頂きたい物は●

古着、古靴、地形からみますと暖かいと思いますが、山岳なので冷えます。古着大歓迎です。洗濯済みでお願いします。但し、新品は輸出品と見なされますので、嬉しいですがご辞退させていただきます。裏面に日程をのせております。グループで取りまとめ頂けます時は日程内でお伺い致します。

### ●整理・発送●

頂きました愛は、メンバーがサイズ分けなど整理し梱包いたします。船便の関係で11月10日までに収集いたしたくご協力をお願い申し上げます。子供たちを寒さから守って頂き、埋もれた大地を自由に走り、元気な笑顔を！意をご理解いただき是非ご協力をお願い申し上げます。

大阪夕陽丘ライオンズクラブ

会 長 古 沢 明 廣  
第三副会長 齋 藤 春 雄